

第24期 りそなグループ 中間報告書
(2024年4月1日～2024年9月30日)

Realizing
"Retail No.1"

りそな Today

2024.4.1 ▶ 2024.9.30

Resona | *Premium Meeting*
りそな株主セミナー

詳しくは裏表紙をご覧ください

INDEX

Top Message.....	01	グループ銀行の概況	11
りそなグループのパーパス	02	株式の状況/株式事務のご案内	12
金融の枠にとどまらない取り組み.....	03	株主さまの個人情報のお取り扱いについて ...	13
金融に根ざした取り組み	05	株主優待制度/お知らせ	14
りそなグループの業績.....	07	りそな株主セミナー開催のお知らせ ...裏表紙	



株式会社 りそなホールディングス

「リテールNo.1」の実現に向けて

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度上半期の日本経済は、緩やかな回復基調を辿り、国内の金融政策においても、7月に追加利上げが実施されるなど、「金利のある世界」が定着しつつあります。こうしたなか、親会社株主に帰属する中間純利益は、1,142億円(前年同期比+317億円、同+38.4%)となり、期初業績目標(1,650億円)に対して69.2%の進捗率となりました。資金利益とフィー収益の「双発」で業務粗利益が拡大するなど、主要ビジネスの堅調さが確認できるなかで、通期業績目標を1,750億円(期初比+100億円)に上方修正しました。また、不良債権比率は1.24%、自己資本比率は13.13%と、引き続き、健全な水準を維持しております。

株主さまへの還元につきましては、安定配当を継続しつつ、総還元性向「50%程度」を目指すという中期経営計画の基本方針のもと、本年5月に続き、11月にも200億円を上限とする自己株式取得枠を設定しました。1株当たりの配当金は、期初予想どおり、中間配当を11.5円、年間の配当予想を前年度比1円増配の23円とさせていただいております。なお、上方修正後の業績目標に対する総還元性向は53.3%となる見込です。

中期経営計画は、3ヵ年計画の折り返し地点を過ぎましたが、金融を取り巻く事業環境は大きな転換点を迎えています。こうした変化を前向きに捉え、改めて、グループの強みを活かしたビジネスのさらなる深掘と新たな価値創造に注力してまいります。また、2025年1月、みなと銀行のシステムリニューアル(事務・システム統合)が完了することで、グループ連結運営のさらなる進化に向けて新たな局面を迎えることとなります。

今後も、パーパス(「金融+で、未来をプラスに。」)を基軸に、「お客様の喜びが、りそなの喜び」という基本姿勢を決して見失うことなく、お客様のこまりごと、社会課題の解決に全力を尽くす金融グループでありたいと考えております。株主の皆さまにおかれましては、引き続き、りそなグループの挑戦に、変わることはないご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年12月



株式会社りそなホールディングス
取締役兼代表執行役社長
兼グループCEO

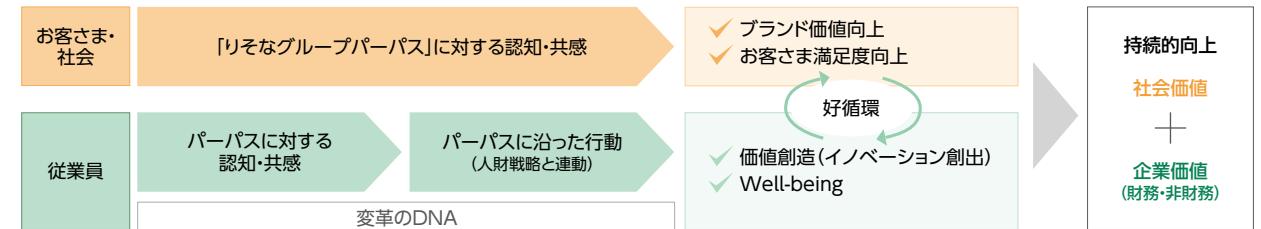
南 昌宏

りそなグループのパーパス

2023年5月、りそなグループパーパス「金融+で、未来をプラスに。」を制定しました。りそなグループがお客様や社会に「どのように貢献するか」を示したものであり、りそなグループの根底に流れる想いをあらためて言語化したものです。多様化・高度化するお客様・社会のニーズに寄り添い、金融の枠にとどまらない発想で未来をプラスに変えていきたいという強い想いが込められています。

このパーパスを認知・共感していくために、様々な取り組みを実施しています。お客様・社会に対しては、パーパスに沿った企業活動を訴求するとともに、TVCM、Web広告などを展開しています。従業員に向けても、様々なコンテンツの制作、評価・表彰制度の整備、研修や経営陣との対話の拡充などを進め、組織内での意識の共有に努めています。

パーパスへの深い理解を通じ、持続的な社会価値・企業価値の向上に向けた取り組みを加速させていきます。



りそなグループパーパス

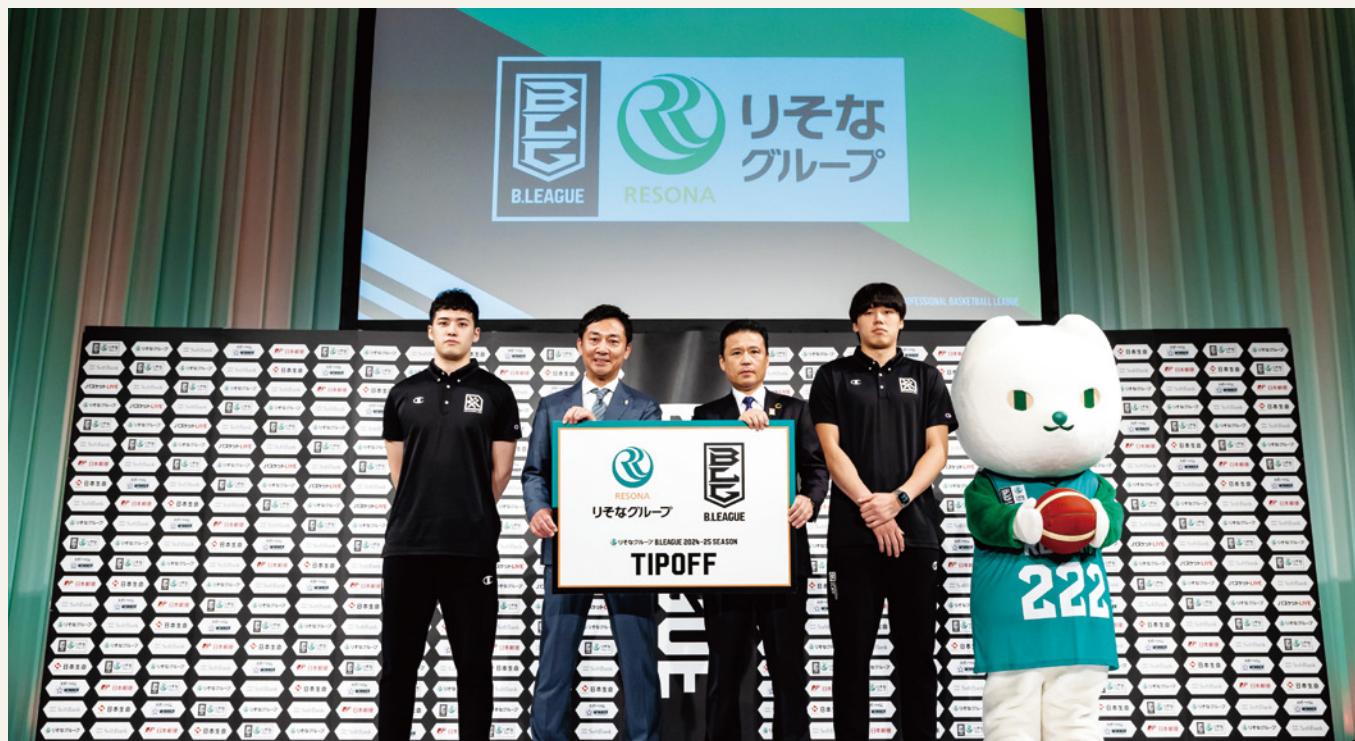
金融+で、未来をプラスに。

社会がどのように変わっても、
安心して前を向けること。
希望を持って踏み出せること。

そのために私たちは
一つひとつの地域に寄り添い、
金融の枠にとどまらない発想で
小さなことでも、大きなことでも、
未来をプラスに変えていく。

たくさんの安心と希望
そしてワクワクする未来のために、
私たちりそなは、変革と創造に挑み続けます。

01 | りそなグループ×B.LEAGUEで、「地域社会」の未来をプラスに。



タイトルパートナー就任会見

7月1日にりそなグループは、国内男子プロバスケットボールリーグ「B.LEAGUE」のタイトルパートナー*に就任しました。B.LEAGUEは2016年のリーグ発足時から現在にいたるまで「バスケットで日本を元気に!」の実現を目指し、常に変革に挑み続けています。全国各地にあるクラブは試合会場であるアリーナを中心に地域社会と雇用、交流、ネットワークの構築により、お互いに支え合う好循環を生み出し、地方創生に貢献しています。同じく変革と挑戦の歴史を持つりそなグループとは親和性が高く、地域社会への想いは共鳴しています。タイトルパートナーとして、各クラブ、ファン、地域や他のスポンサー企業と事業などを共創し、地域社会の発展とリーグの盛り上げを、B.LEAGUEとともに実現していきます。

*タイトルパートナーは、対象シーズンにおけるB.LEAGUEの全公式試合のネーミングライツを保有し、公式ロゴ・名称を含め、B.LEAGUEの対外的なすべての表記に関連することができる唯一のパートナーです。

02 | アートで、「地域」の未来をプラスに。

関西みらい銀行は、8月に針中野支店の壁面を活用し、地域を彩る「かんみらMURAL(ミューラル)」を制作しました。

建物の壁面を利用したミューラル(壁画)は関西の金融機関で初の取り組みで、その大きさ(縦8m×横20m)は最大級です。制作はミューラルをプロデュースするスタートアップ企業WALL SHARE株式会社と連携しました。地元アーティストの活躍の場につなげるとともに、アートを通じた地域活性化、街の賑わい創出に貢献します。



関西みらい銀行 針中野支店に描かれた「かんみらMURAL」

03 | 金融経済教育で、「子どもたち」の未来をプラスに。

りそなグループでは、従業員が講師となり、クイズやゲームを通してお金や働くことの大切さなどを楽しみながら学習できる子ども向け金融経済教育「りそなグループキッズマネーアカデミー」を2005年から開催し、これまでに約49,000人の卒業生を輩出しています。今年も全国各地で226回開催し、これまでになかった新しい価値をプラスし、ご好評いただきました。

関西みらい銀行では、7月に近畿日本鉄道株式会社と共同でキッズマネーアカデミーを実施しました。近鉄針中野駅で展開されているミューラル、制作途中だった針中野支店のミューラルを体感し、路線図を使ったお金のゲームや、電車とお金のクイズにより、「地元の取り組み」「お金・働くことの大切さ」を楽しみながら学ぶ機会を提供しました。

りそなホールディングスでは、8月に東京都内において、B.LEAGUEに所属する「アルバルク東京」の選手のご協力のもと、バスケットボールの要素を加えた「金融+バスケ」の特別教室を開催しました。選手とともにバスケットボールを楽しみつつ、お金の大切さ、ライフイベントに応じたお金の活用を学ぶ機会を提供しました。



キッズマネーアカデミー

04 | マイパーパスで、「従業員」の未来をプラスに。

りそなグループでは、全従業員が「りそなグループの一員として社会にどのように貢献したいのか」を表す「マイパーパス」を持つためのワークショップを実施しています。

りそなグループパーパスと従業員一人ひとりの「個人の価値観・信念(人生観)」を共鳴させて、従業員の自律的なパーパス実践の促進、エンゲージメント向上、そして働きがいの創出につなげていきます。



マイパーパスワークショップの実施

05 | 地域に密着した取り組みで、「地域社会」の未来をプラスに。

りそなグループでは、地域に密着し、地域経済の活性化に資する取り組みを行っています。

2025年4月に開幕する大阪・関西万博内の大阪ヘルスケアパビリオンでは、1週間ごとに「ミライの医療」「ミライのメトロポリス」「ミライと和の調和」「ミライのテクノロジー」の4テーマに分けた展示を行います。4週間で39展示45社の展示企画のサポートを進めており、来場者が社会課題の解決と明るいミライのビジョンを体感できる場となるように準備しています。

また、りそな銀行では、万博で提供されるウォレットサービス「EXPO2025デジタルウォレット」を構成する機能としてポイントサービス「ミャクポ！」を株式会社三菱総合研究所とともに提供しています。このポイントは、万博イベントや万博テーマに関連するSDGs活動への参加によって貯まり、貯めたポイントは、限定商品や万博入場チケットと交換できる他、万博開幕後は会場内でのイベントやツアーといった特別な体験などにも利用できる予定です。この取り組みにより、個人一人ひとりの想いを形にし、万博につなげることで、万博の成功ならびにSDGs達成に貢献します。

また、埼玉りそな銀行では、文化財の有効活用を通じた産業創出や川越、埼玉のブランド発信を行う拠点として「りそな コエドテラス」を5月15日に開業しました。埼玉りそな銀行の前身銀行の一つである旧第八十五銀行は1918年に現在の場所に移転新築し、1996年に国の登録有形文化財として埼玉県で第1号の登録を受けました。100年以上にわたる銀行店舗から「りそな コエドテラス」として生まれ変わり、引き続き川越、埼玉の産業創出やブランド発信、暮らしを豊かにする拠点として歩んでいきます。



大阪ヘルスケアパビリオン外観
提供：(公社)大阪パビリオン



りそな コエドテラス

06 | パートナーとともに、「お客さま」の未来をプラスに。

りそなグループでは、戦略的パートナーとの共創によるお客さまへの新たな価値の提供に取り組んでいます。第24期におきましては、下記の取り組みを実施しています。



株式会社デジタルガレージ

- 4月**
- 資本業務提携を本格化
 - 相互に人財交流を行い、法人のお客さま向け非対面決済サービス「りそなPayResort+」開始
 - CVCファンドを設立。グループ共同でスタートアップ投資開始



世界にひとつ。あなたにひとつ。
株式会社ジェシービー

- 9月**
- 中小企業のお客さまの決済業務を起点とした課題解決に向けて、法人分野における業務提携契約を締結



NTTデータソフィア株式会社

- 10月**
- 出資比率を15%から30%に引き上げ、従来のITアウトソーシングを超えた戦略的パートナーとして、デジタル分野のソリューションを強化

07 | 中小企業・スタートアップ支援で、「お客さま」の未来をプラスに。

りそなグループでは、中小企業・スタートアップ企業の皆さまへの支援を行っています。

関西みらい銀行では、「革新的な技術やビジネスモデルに挑戦し、世界に向けて新たな価値を提供していくベンチャー企業」や「地域を牽引し、みらいを創造していく先進的なベンチャー企業」を発掘し、成長とイノベーション創出をサポートすることを目的に、関西みらいベンチャーアワード「みらいWay」を6月に開催しました。118社のエントリーをいただき、10社が受賞しました。

みなと銀行では、兵庫におけるスタートアップ支援のため、株式会社デジタルガレージ、日本マイクロソフト株式会社と共同で、短期集中型のスタートアップ育成プログラムである「BOOTSTRAP in 神戸」を7月に開催しました。学生起業家や新規事業担当者など、多数の方々にご参加いただきました。

埼玉りそな銀行では、企業の経営改善や事業再生支援を通して地域経済の活性化に貢献することを目的に、7月に金融機関として埼玉県内で初めて埼玉県中小企業診断協会と包括連携協定を締結しています。



みらいWay授賞式



BOOTSTRAP in 神戸



包括連携協定締結式

08 | 社会課題解決で、「お客さま」の未来をプラスに。

りそな銀行と埼玉りそな銀行では、空き家問題という社会課題の解決のため、「りそな空き家専用ローン」の取扱を5月より開始しました。従来は空き家を購入する際に物件が古すぎて担保に入られず、ローンの利用が難しいケースが多くありましたが、無担保で提供することにより、物件の築年数などに関係なくローンを利用した購入ができるようになりました。



お客さま向け案内資料

09 | システムリニューアルで、「お客さま」の未来をプラスに。

みなと銀行では、2025年1月にシステムを全面リニューアルします。本リニューアルにより、りそなグループのシステム基盤と共通化され、お客さまに高品質の商品・サービスをご提供することが可能となります。今後もより一層皆さまにご満足いただける金融サービスを提供し、地域の皆さまとともに歩み、成長する銀行の実現を目指していきます。



りそなグループの業績 2024年9月期

親会社株主に帰属する中間純利益は、1,142億円となりました。

期初業績目標(1,650億円)に対する進捗率は69.2%となりました。資金利益とフィー収益の「双発」で業務粗利益が拡大するなど、主要ビジネスの堅調さが確認できるなかで、通期業績目標を1,750億円(期初比+100億円)に上方修正しました。

●損益の状況 (りそなホールディングス連結)

	2023年9月期 (A)	2024年9月期 (B)	前年同期比 (B)-(A)
業務粗利益	3,131	3,451	+320
資金利益 ^{*a}	2,049	2,290	+241
うち国内預貸金利益 ^{*1}	1,648	1,713	+65
うち円債利息等 ^{*2}	144	180	+36
フィー収益	1,058	1,123	+64
信託報酬	130	128	△1
役務取引等利益 ^{*b}	928	994	+66
その他業務粗利益	22	37	+15
経費(除く銀行臨時処理分)	△2,058	△2,207	△149
実質業務純益 ^{*c}	1,075	1,248	+172
コア業務純益 ^{*d}	1,170	1,302	+132
株式等関係損益(先物込)	219	460	+240
与信費用 ^{*e}	△102	△68	+34
その他損益等	△52	△54	△2
税金等調整前中間純利益	1,139	1,585	+445
法人税等合計	△312	△432	△120
非支配株主に帰属する中間純利益	△2	△10	△8
親会社株主に帰属する中間純利益	825	1,142	+317

(単位:億円)

貸出金残高の増加に加えて、貸出金利回りも改善し、増益幅が拡大しています。

金利環境変化を踏まえた有価証券ポートフォリオの構築により、増加しました。

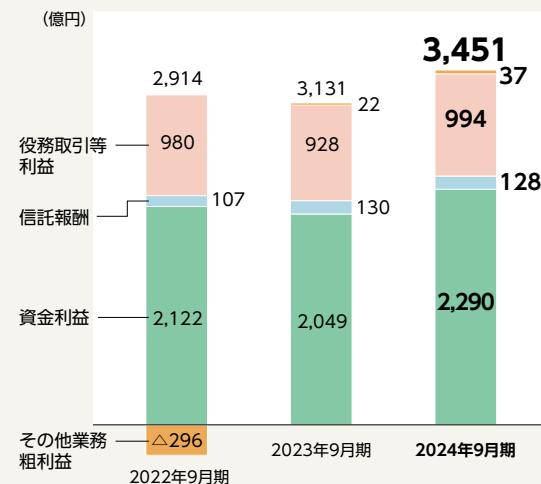
中間期における過去最高益を更新しました。

人財・IT投資の拡充により増加しましたが、経費率は改善しています(P.08ご参照)。

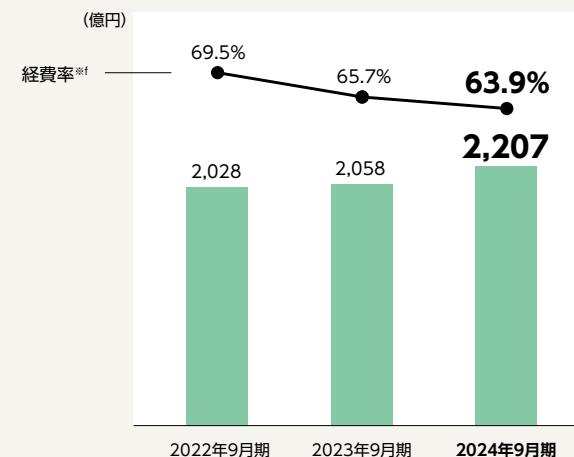
政策保有株式の売却進展により増加しました。

年間計画に対する費消率は17.1%となっています。

●業務粗利益



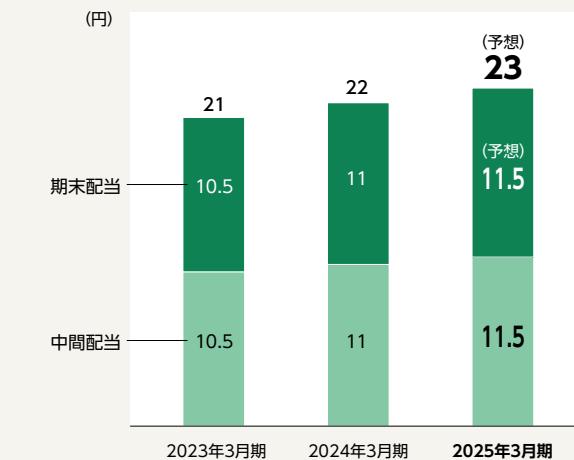
●経費(除く銀行臨時処理分)



●親会社株主に帰属する中間純利益



●普通株式1株当たり配当金



*1 銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む) *2 円債利息・金利スワップ収益

用語解説

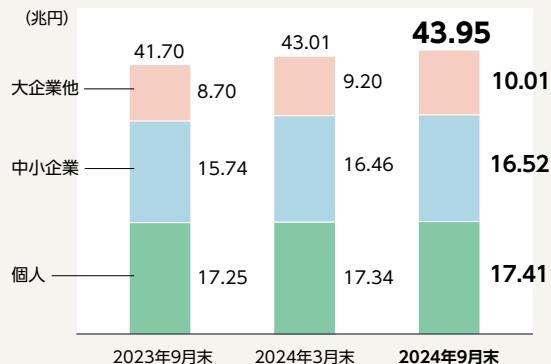
- *a 資金利益 貸出や有価証券運用などによる資金運用収益から、預金利息などの資金調達費用を差し引いた収支のことです。
- *b 役務取引等利益 投資信託の販売やお振込み、不動産仲介など、サービス提供の対価としてお客さまからいただく手数料収入のことです。
- *c 実質業務純益 業務粗利益(除く信託勘定不良債権処理額)から、経費(除く銀行臨時処理分)を引くなどしたものです。
- *d コア業務純益 実質業務純益から投資信託解約損益と債券関係損益(現物)を引いたものです。
- *e 与信費用 貸出金などに対する貸倒引当金の計上や償却処理に要した費用のことです。
- *f 経費率 貸倒引当金の戻入や償却債権取立益をネットした計数を表示しています。
- *g 経費率 業務粗利益に占める経費(除く銀行臨時処理分)の比率のことです。効率性を示す指標の一つで、比率が低いほど効率的であることを示します。

りそなグループの業績 2024年9月期

貸出金・預金の状況

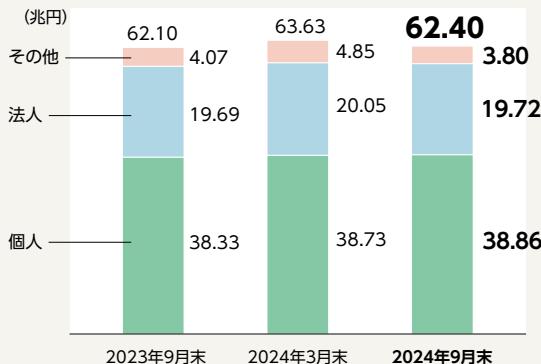
●貸出金残高 (グループ銀行合算)

前年同期比5.3%の増加となりました。



●預金残高 (グループ銀行合算)

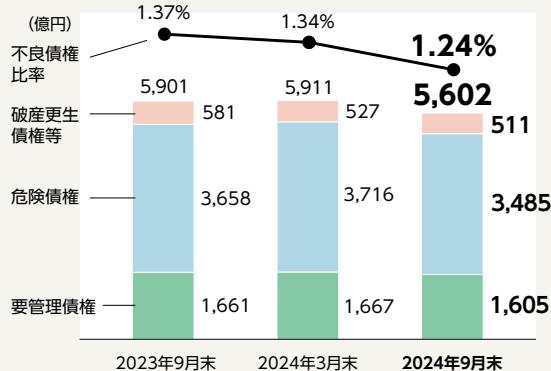
法人・個人のお客さまともに前年同期比で増加しました。



財務健全性指標の推移

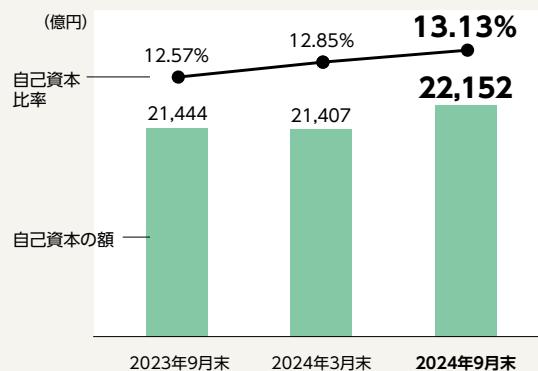
●不良債権残高・比率 (グループ銀行合算・金融再生法基準)

不良債権比率は1.24%と、引き続き低位な水準です。



●自己資本比率 (りそなホールディングス連結)

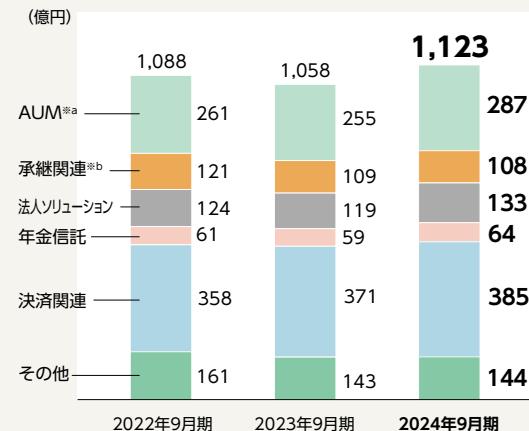
自己資本比率(国内基準)は13.13%と、引き続き、健全な水準を維持しています。



フィービジネスの状況

●フィー収益 (りそなホールディングス連結)

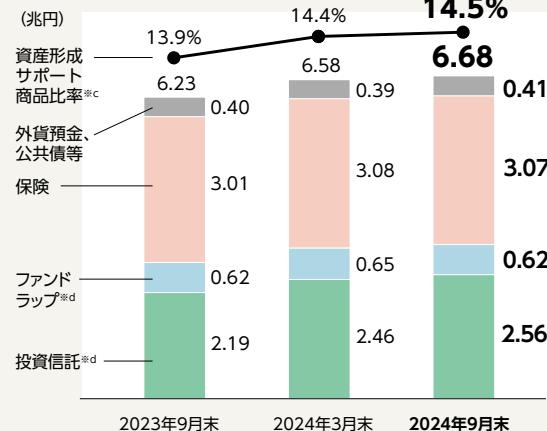
AUM、決済関連、法人ソリューション等が牽引し、中間期における過去最高益を更新しました。



※a 保険、投信(販売手数料・信託報酬)、ファンドラップ、証券信託、りそなアセットマネジメントの役員利益
 ※b 承継信託、不動産、M&A

●個人向け資産形成サポート商品残高 (りそなホールディングス連結)

運用への関心が高まるなか、投資信託が増加しました。



※c 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))
 ※d 時価ベース残高

りそなグループの業績の詳細内容につきましては、ホームページをご覧ください。

りそな 財務 検索 <https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/ir/>

当社Webコンテンツのご案内

株主の皆さまに、当社についてよりご理解いただくため、Webコンテンツの充実を図っております。ぜひご覧ください。

りそな 株主・投資家の皆さまへ 検索 <https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/>

グループ銀行の概況

りそな銀行

● 損益の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月期	2024年9月期
業務粗利益	1,591	1,835
経費	△1,051	△1,131
実質業務純益	540	703
与信費用	△68	△89
中間純利益	442	602

● 貸出金・預金の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月末	2024年9月末
貸出金	228,452	245,391
預金	339,783	337,453

● 自己資本比率の推移 (連結・国内基準)

(単位:%)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本比率	12.40	12.69

関西みらい銀行

● 損益の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月期	2024年9月期
業務粗利益	465	453
経費	△318	△323
実質業務純益	147	129
与信費用	△17	23
中間純利益	108	128

● 貸出金・預金の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月末	2024年9月末
貸出金	69,488	70,965
預金	73,717	75,122

● 自己資本比率の推移 (連結・国内基準)

(単位:%)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本比率	12.71	12.91

埼玉りそな銀行

● 損益の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月期	2024年9月期
業務粗利益	586	611
経費	△378	△403
実質業務純益	208	207
与信費用	△1	△8
中間純利益	166	197

● 貸出金・預金の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月末	2024年9月末
貸出金	88,251	91,217
預金	168,703	172,745

● 自己資本比率の推移 (連結・国内基準)

(単位:%)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本比率	16.55	16.49

みなと銀行

● 損益の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月期	2024年9月期
業務粗利益	208	211
経費	△161	△166
実質業務純益	47	44
与信費用	△3	△1
中間純利益	31	112

● 貸出金・預金の推移 (単体)

(単位:億円)

	2023年9月末	2024年9月末
貸出金	30,896	31,993
預金	38,889	38,682

● 自己資本比率の推移 (連結・国内基準)

(単位:%)

	2024年3月末	2024年9月末
自己資本比率	10.32	10.66

Stock information

株式の状況 2024年9月30日現在

株式の状況詳細についてはホームページをご覧ください。
<https://www.resona-gr.co.jp/holdings/investors/kabu/kabunusi/>



発行済株式総数

2,323,409,766株

株主数

268,639名

大株主 (上位10位)

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主の氏名または名称	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	356,299	15.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	127,195	5.47
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	88,293	3.80
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	87,861	3.78
JP MORGAN CHASE BANK 385632	82,934	3.57
第一生命保険株式会社	75,145	3.23
日本生命保険相互会社	54,355	2.34
AMUNDI GROUP	45,133	1.94
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	41,874	1.80
JP MORGAN CHASE BANK 385781	33,442	1.43

株式事務のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会の基準日	毎年3月31日
配当金の基準日	毎年3月31日(中間配当実施の場合は9月30日)
公告方法	電子公告(当社Webサイト) https://www.resona-gr.co.jp/holdings/other/koukoku/ ※やむを得ない事由により電子公告できない場合は日本経済新聞に掲載
単元株式数	100株

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
・郵便物の発送と返戻 ・支払期間経過後の配当金 ・株式事務に関する一般的な お問合せ	株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社 郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・休日を除く)
	Webサイト https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
	証券会社 口座を開設されている証券会社にお問合せください
上記以外のお手続き、 ご照会など (住所変更・相続等)	特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話番号 0120-782-031 (9:00~17:00 土・日・休日を除く)

株主さまの個人情報のお取扱いについて

株式会社りそなホールディングス(以下、「当社」といいます)は、会社法に基づく株主さまの権利の行使、会社法等関係法令に定める当社の義務の履行および当社の業務の円滑な遂行のため、株主さまの個人情報(氏名・住所・保有株式数等)を利用させていただいております。当社は、これらの株主さまの個人情報につきまして、適切な保護を重大な責務と認識し、個人情報の保護に関する法律、会社法、その他の関係法令および当社の諸規則を遵守し、適切な保護と利用に努めます。

1 株主さまの個人情報の利用目的について

当社は、直接または株主名簿管理人を通じて株主さまの個人情報を取得いたしますが、これらの株主さまの個人情報を、以下の目的に利用させていただきます。

- (1) 会社法に基づく権利の行使・義務の履行のため
- (2) 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社(下記2.(1)に記載の会社、以下同様)から各種便宜を供与するため
- (3) 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため
- (4) 各種法令に基づく所定の基準による株主さまのデータを作成するなどの株主さまの管理のため

2 株主さまの個人情報の共同利用について

当社は、下記のとおり、上記1.記載の利用目的の達成に必要な範囲内において、個人情報保護法第27条第5項第3号に基づく個人データの共同利用を行っております。なお、株主さまからの停止のご要請があった場合、以後の共同利用を停止いたしますので、停止をご希望される場合は、下記3.記載のご連絡先までご連絡ください。

(1) 共同利用者の範囲

- 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 株式会社りそな銀行
- 株式会社埼玉りそな銀行
- 株式会社関西みらい銀行
- 株式会社みなと銀行

(2) 共同利用する個人データの項目

- 氏名・住所
- 保有株式数
- 株主番号および登録時期に関する情報

(3) 共同利用者の利用目的

- 株主さまとしての地位に対し、当社および当社子会社から各種便宜を供与するため
- 株主さまと当社および当社子会社との双方の関係を円滑にする各種の方策を実施する(当該方策の実施を目的として、株主さまの個人情報を当社子会社に提供することを含む)ため

(4) 個人データの管理責任者の名称・住所・代表者氏名

- 名称 株式会社りそなホールディングス(当社)
- 住所 東京都江東区木場一丁目5番65号
- 代表者氏名 南 昌宏

3 株主さまの個人情報の提供停止についてのご連絡先

電話番号 東京 **03-6704-3111**(代表)
大阪 **06-6268-7400**(代表)
受付時間 9:00~17:00(銀行休業日を除く)

株主さまから過去に個人情報の提供の停止をご希望される旨のご連絡をいただいた場合には、当社にご連絡をいただいた株主さまの個人情報を共同利用者に対して提供することはありませんので、再度ご連絡をいただく必要はございません。

株主優待制度

株主の皆さまにりそなグループのサービスをご利用いただく機会をもつていただくことを目的に、りそなグループの「クラブポイント」を進呈する株主優待制度を実施しています。

株式数に応じたポイントを進呈 ※対象銀行は、りそな銀行・埼玉りそな銀行・関西みらい銀行となります。

保有株式数	月間(最大200ポイント)	年間(最大12ヵ月)	ステータス*
100株以上500株未満	20ポイント	240ポイント	パール
500株以上600株未満	25ポイント	300ポイント	↓
600株以上700株未満	30ポイント	360ポイント	
⋮	100株ごとに5ポイント加算	—	ルビー
2,000株以上2,100株未満	100ポイント	1,200ポイント	
⋮	100株ごとに5ポイント加算	—	↓
4,000株以上	200ポイント	2,400ポイント	

※銀行とのお取引内容によっては、記載より高いステータスとなる場合があります。



毎年3月末時点において1単元株(100株)以上を保有の株主さまに、6月に株主優待券をお送りしています。株主優待制度の概要やご留意事項については、ホームページをご覧ください。
マイゲートでのお申込締切:2025年3月31日(月) ※郵送での受付は終了しています。



株主総会資料の電子提供に関するお知らせ



2025年3月期以降の事業報告、連結計算書類等を含む株主総会資料の郵送をご希望される株主さまは、2025年3月末日までにお取引のある証券会社または株主名簿管理人(三井住友信託銀行)に「書面交付請求」のお手続きをお願いいたします(既に「書面交付請求」をされている場合、今回あらためてお手続きいただく必要はございません)。
※株主総会開催のご案内、株主総会参考書類、議決権行使書、配当関係書類は従来どおり郵送いたします。
※事業報告・連結計算書類等は、全てりそなグループのホームページに掲載いたします。

本件に関するお問合せ先 **三井住友信託銀行 証券代行部 0120-533-600**
受付時間 9:00~17:00(土・日・休日を除く)

第1部

マーケットセミナー

国内外の景気動向とマーケット情報



講師
黒瀬 浩一

りそなアセットマネジメント チーフ・ストラテジスト
りそな総合研究所 主席研究員
BSテレ東[NIKKEI NEWS NEXT]、日経CNBC「昼エクスプレス」、
BS-TBS「Bizスクエア」、BS12「マーケット・アナライズconnect」、
ラジオNIKKEI「ザ・マネー」等、各種情報メディアにて執筆・出演

東京

800名程度

2025年2月22日(土) 13:30~15:30(開場 13:00)

会場：東京国際フォーラム(ホールB7) 東京駅・有楽町駅

第2部出演

りそなホールディングス社長
南 昌宏

りそな銀行社長
岩永 省一

大阪

400名程度

2025年3月2日(日) 13:30~15:30(開場 13:00)

会場：りそなグループ大阪本社ビル 堺筋本町駅・本町駅

第2部出演

りそなホールディングス社長
南 昌宏

りそな銀行社長
岩永 省一

埼玉

400名程度

2025年3月6日(木) 13:30~15:30(開場 13:00)

会場：ロイヤルパインズホテル浦和 浦和駅

第2部出演

りそなホールディングス社長
南 昌宏

埼玉りそな銀行社長
福岡 聡

第2部

「リテールNo.1」の実現に向けて



コーディネーター 江連 裕子氏
(経済キャスター)
経済学修士。経済キャスターとして日経CNBC、テレビ東京、ラジオNIKKEI、JETROなどの経済番組を担当。現在は、InterFMに加入して、企業の監査等委員・社外取締役、広報顧問、公益財団法人理事を兼務。



りそな
ホールディングス
社長
南 昌宏

お申込み方法 ※オンデマンド配信のご視聴については、お申込みは不要です。

Web
からの
お申込み

<https://www.resona-gr.co.jp/kabuseminar/>

必要事項をご入力の上、送信してください。



郵送
での
お申込み

同封のはがき「りそな株主セミナー
参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、
ご投函ください。

締切:2024年12月25日(水)必着



全会場の開催終了後、一部オンデマンド配信をする予定です。
詳細は当社ホームページ(以下「株主セミナーに関するご案内」)にてご案内いたします。

事前質問の受付 締切:2025年1月31日(金)

りそなグループの今後の戦略等について株主さまからのご質問を募集いたします。以下に記載の「株主セミナーに関するご案内」のページからご送信ください。

ご注意ください

- 応募者多数の場合は抽選となります。
- 当選された方には開催日の2週間前までに入場券をお送りいたします。電話等によるお問合せにはお答えできませんのでご了承ください。
- 開催会場までの往復交通費は各自でご負担いただけます(駐車場のご用意はありません)。
- 開催方法の変更や中止等、開催に関するお知らせは、随時「株主セミナーに関するご案内」のページに掲載いたします。

株主セミナーに関するご案内

<https://www.resona-gr.co.jp/kabuseminar/>



名称

株式会社りそなホールディングス 証券コード 8308

(英文名称 Resona Holdings, Inc.)

所在地

東京本社 〒135-8582 東京都江東区木場一丁目5番65号 電話(03)6704-3111(代表)

大阪本社 〒540-8608 大阪市中央区備後町二丁目2番1号 電話(06)6268-7400(代表)



りそなグループは
持続可能な開発目標
(SDGs)を支援しています。



この報告書は、環境に配慮した用紙・インキを使用しています。

